

主要地方道飯塚福間線(千石脇野工区)
【宮若市】

1.事業概要

1)路線の概要

主要地方道飯塚福間線は、飯塚市川島の一般国道200号を起点とし宮若市を経て福津市中央の一般国道495号を終点とする延長約30kmの主要な幹線道路であり、筑豊地域と福津・宗像地域を結ぶ産業、経済、文化の発展の一翼を担う道路である。また、災害時の救援・救護活動や人員・物資輸送のための緊急輸送道路の2次ネットワークに指定されている重要な路線である。

2)事業の必要性

- ①本事業区間の脇野橋は、通勤・物流等の車両が集中しているが、交差点が連続している変則交差点であるため、朝夕のピーク時間を中心に渋滞が発生しており、円滑な交通に支障を来している。また交通渋滞を起因とした、車両同士の追突事故が発生している。【過去10年の脇野橋での死傷事故36件】
- ②本路線は、緊急輸送道路2次ネットワークに指定されており、沿線には災害拠点となる施設である陸上自衛隊飯塚駐屯地が立地しているが、現道の区間は、幅員狭小であり、また、防災上対策を必要とする箇所があるため、災害発生時などその機能が発揮されない状況にある。
- ③本路線は九州縦貫自動車道若宮ICや周辺の工業団地へのアクセス道路となっているが、脇野橋での交通混雑により、物流の定時制確保が難しく、地域の経済活動に支障を来している。

3)事業に期待される効果

主要地方道飯塚福間線(千石脇野工区)のバイパス整備を行うことで、以下の効果が期待される。

①(安全で円滑な交通の確保)

変則交差点が解消されるため、交通渋滞が解消され、安全で円滑な交通が確保される。

【現道の混雑度:1.10→0.26、飯塚市側流入部渋滞長:1,300m→0m
福津市側流入部渋滞長:600m→0m】

②(緊急輸送道路の機能強化)

災害拠点となる施設である陸上自衛隊飯塚駐屯地から若宮ICへのアクセスが向上するなど、緊急輸送道路の機能強化が図られる。

③(産業活動の支援)

脇野橋の混雑が解消されることにより、若宮ICへのアクセスなど物流の定時制が確保され、自動車産業をはじめとする地域の経済活動を支援することが期待される。

【飯塚市内～若宮ICまでのピーク時の所要時間:約11分短縮】

2.現道の状況

現況幅員: W=5.5(6.5)m

現況交通量(車線数): 11,800台/日(2車線)(大型車混入率12.8%)【R1.10.7実測結果】

混雑度: 1.10

3.計画内容

事業箇所: 福岡県宮若市大字宮田

延長・幅員・設計速度: L=1,300m W=6.5(11.0)m(第3種第2級)V=60km/h

全体事業費: C=2,600百万円

事業着手年度: 令和2年度

事業完成予定年度: 令和11年度

計画交通量(車線数): 8,900台/日(2車線)(R12年推計)

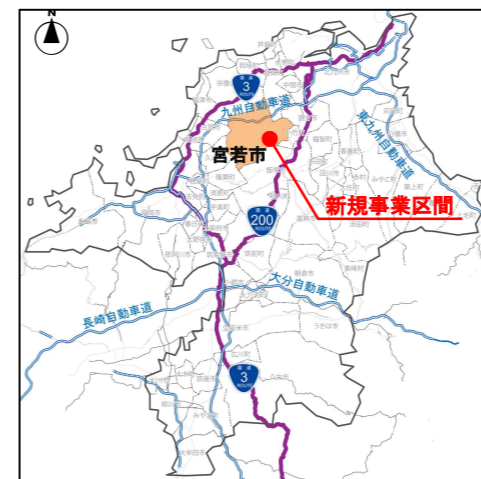
費用便益比(B/C): 1.34

4.その他特記事項

陳情書・要望書: 令和2年1月23日 要望書 宮若市役所から提出

県道飯塚福間線道路整備促進期成会より平成5年から継続して要望

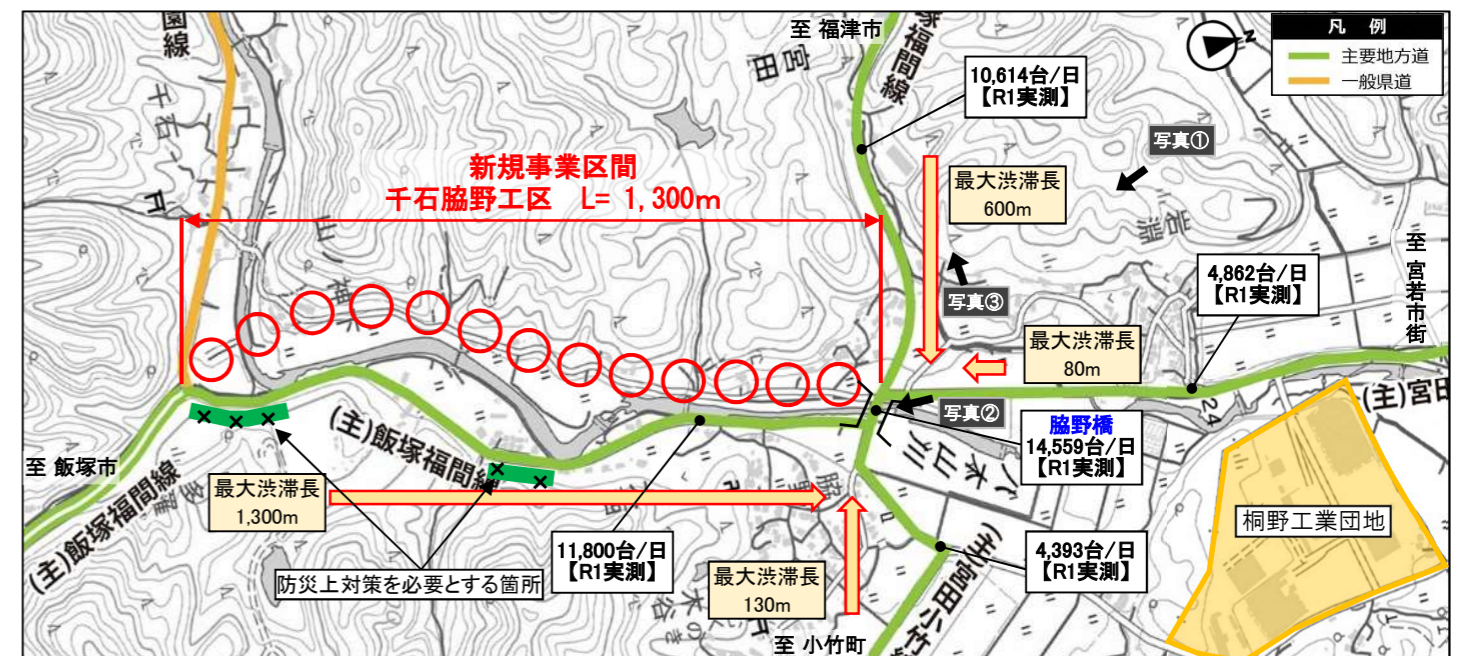
【位置図】



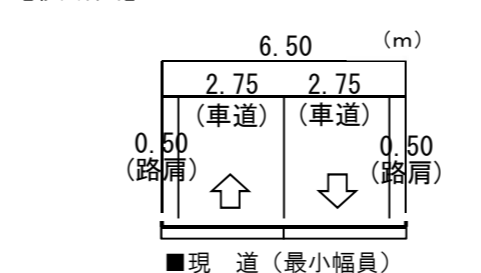
【対象区間周辺図】



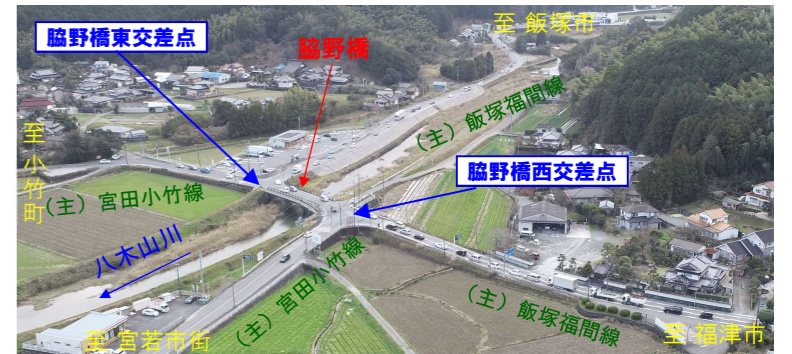
【新規事業区間図】



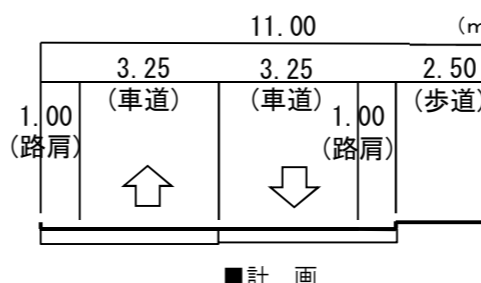
【横断面図】



【現況写真】



写真①: 脇野橋周辺の全景



■計画



写真②: 脇野橋東交差点の渋滞状況



写真③: 脇野橋西交差点の渋滞状況